

「授業(児童・生徒・教師)スタンダード5」の推進

4月より小中連携の一つとして「スタンダード5」が、町内のすべての学校で実施されます。

「スタンダード5」とは？(右図を参照)

「学習(児童・生徒)スタンダード5」は、低学年、中学年、高学年・中学生の3つの成長段階における、授業にかかわる5つのきまりです。例えば、『名前を呼ばれたら「はい」と返事をし、発表する』等があります。

「教師スタンダード5」は、授業で教師が必ず心がけなければならない5つの約束事です。例えば『丁寧でわかりやすい話し方に心がける』等です。

なぜつくったのか？

授業に一定の枠組みや見通しを与えることで、子どもたちの確かな学力の育成や先生方の指導方法の工夫・改善を図ることができる期待されるからです。

今後は？

各学校で「スタンダード5」を実践していく中で、上記のねらいが達成されているかどうか、検証していきます。そして「スタンダード5」の内容を検討し、必要があれば文言を変えていきます。

令和元年度全国体力・運動能力等調査結果について

今年度の厚沢部町の結果について、以下、概要をお知らせいたします。

調査は、昨年1学期中に、町内の小学5年生(男子計14名、女子計8名)と中学2年生(男子計13名、女子計11名)を対象に、各学校で実施されました。

厚沢部町児童・生徒の全国体力・運動能力等調査結果 体力合計点

	小学校5年生		中学校2年生	
	男子	女子	男子	女子
厚沢部町	51.0	53.6	48.4	45.4
北海道比	+1.2	+3.7	-0.7	-1.8
全国比	+1.0	+3.6	-1.6	-4.6

体力合計点では、小学校男女ともに全国平均を上回っていますが、中学校は男女とも全国平均を下回っています。実技では、小学校男子が5種目、小学校女子が6種目、中学校男子は3種目、そして中学校女子は1種目で、全国平均を上回っていました。

今後、この結果をふまえ、運動への関心と意欲を高める取組や、家庭との連携による望ましい生活習慣や運動習慣の定着・改善にむけた取組をすすめていきます。

厚沢部町学習スタンダード5 (ファイブ)

■小学校低学年

- (1) やすみじかんのうちに、つぎのがくしゅうのじゅんぴをしておきましょう。
- (2) はじめとおわりのあいさつは、しっかりとしましょう。
- (3) なまえをよばれたら、「はい」とへんじをしてからはなしましょう。
- (4) はなしをきくときは、おへそをあいてにむけて、さいごまでききましょう。
- (5) ただしいしせいですわりましょう。

■小学校中学年

- (1) やすみじかんのうちに、つぎのがくしゅうのじゅんぴをしておきましょう。
- (2) 授業の始めと終わりのあいさつは、しっかりとしましょう。
- (3) なまえをよばれたら、「はい」とへんじをしてから話しましょう。
- (4) 聞く時は、話している人の方を向いて、静かに聞きましょう。
- (5) セすじをのばして、ただしいしせいで学習しましょう。

■小学校高学年・中学生

- (1) 休み時間のうちに、次の学習の準備をしておきましょう。
- (2) 授業の始めと終わりの挨拶は、しっかりとしましょう。
- (3) 指名されたら「はい」と返事をし、はっきりと発表しましょう。
- (4) 聞く時は、話している人の方を向いて集中して聞きましょう。
- (5) 背筋を伸ばして、正しい姿勢で授業に臨みましょう。

厚沢部町教師スタンダード5 (ファイブ) 案

- 1 丁寧でわかりやすい話し方を心がける。
- 2 授業はチャイムと同時に開始し、チャイムと同時に終了する。
- 3 学習課題とまとめを提示し、振り返りの時間を保障する。
- 4 すべての子供たちに出番があるように配慮する。
- 5 子供たちに考えさせ、表現させる場を設ける。